

戦略評価シート

かづの 商工会

令和2年度(4年目)

※戦略評価判定基準:戦略を構成する施策の評価結果に基づき、A(順調)、B(概ね順調)、C(一部未達成)の3段階で評価する。

戦略1 育て・挑戦を支える商工会		総合評価	Ⓑ
施策1	事業承継の推進		Ⓑ
施策2	伴走型支援事業の推進		Ⓑ
施策3	情報提供など広報活動の強化		Ⓑ
評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)	
評価結果	<p>①支援先の絞り込みにより、支援内容の深まり実行につながった。</p> <p>②発信内容の多様性、回数が増加した。</p>	<p>①支援する事業者数が増えず、伴走型支援につながり難しくなっている。</p> <p>②職員意識と事業者との意識に格差がある。</p>	伴走型小規模事業者支援推進事業で取り上げ実施する。
戦略2 プロ集団の商工会		総合評価	Ⓑ
施策4	職員の資質向上と意識改革のための取組推進		Ⓑ
評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)	
評価結果	<p>①OJT、研修会開催、研修派遣を実施し成果につながっている。</p> <p>②複数職員での支援や業務に移行している。</p>	個人支援が多く、チーム支援へ移行するための体制づくりが急務である。	引き続きOJT、研修会等を実施しながら職員相互による意識の醸成を図る。
戦略3 事業者が主役の商工会		総合評価	Ⓑ
施策5	委員会、部会、青年部・女性部活動の強化		Ⓑ
施策6	青年部・青年部OBなど若手経営者の育成強化、登用		Ⓑ
評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)	
評価結果	<p>青・女部員、若手経営者が参加する委員会を開催し、商工会の現状について理解を深める取り組みを実施した。</p>	一部役員等に意識の変化が見えられるが、まだまだ少数でありさらなる拡大を図る取組が必要と思われる。	部会活動、委員会の開催を通じて会員の意識改革を図りながら会員主体の運営に移行する。
戦略4 機動的・効率的な商工会		総合評価	Ⓑ
施策7	職場改善に関する取組推進		Ⓑ
施策8	事業評価の検証に基づく地域振興事業のあり方検討		Ⓑ
施策9	組織体制の見直しと運営計画の策定		Ⓑ
評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)	
評価結果	<p>役員・総代などが事業運営を主体的に参画する状況になってきた。職員の職場改善に対する意識が高まってきた。</p>	<p>①役員等が参画しやすい制度や体制を整備する。</p> <p>②職員の職場改善に対する意識を高める方法を検討する。</p>	<p>①役職員の問題意識の共有を図る。</p> <p>②取組の手順や仕組み等を制度化する。</p>
戦略5 環境変化に強い商工会		総合評価	Ⓑ
施策10	財政運営計画の策定		Ⓑ
評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)	
評価結果	<p>①役職員の一体となった会員獲得の取組を行った。</p> <p>②将来に備えた引当金計上している。</p> <p>③役員等による商工会運営に関する情報共有を図っている。</p>	<p>①事務局主体から役員等会員が主導する商工会運営への移行(情報共有・意思決定)を図る。</p> <p>②自主財源確保の取組強化と職員数の削減などによる支出の圧縮を図る。</p>	<p>①役職員との連携活動の強化する。</p> <p>②自主財源の確保を図る。</p> <p>③業務の効率化の推進する。</p> <p>④職員定数の削減を計画する。</p>